

(行政視察・政務活動・議員研修) 報告書

平成 30 年 11 月 28 日

白石市議会議長 志 村 新一郎 殿

議員氏名 大町 榮信

下記のとおり行いましたので報告いたします。

期 間	平成 30 年 11 月 13 日 (火) ~ 11 月 14 日 (水)
調査・研修先	1. 一宮市役所 愛知県一宮市本町 2 丁目 5-6 2. 藤枝市役所 静岡県藤枝市岡出山 1 丁目 11-1
調査事項 (研修事項)	1. ICT 技術を活用したプログラミング教育等の取り組みについて 2. “健康・予防日本一のまち藤枝”づくりに向けた「ふじえだプロジェクト」について
対応者・講師等	1. 一宮市教育委員会教育文化部 学校教育課 指導主事 池山清二 氏 2. 藤枝市健康福祉部健やか推進局 健康企画課 課長 平澤孝之 氏
概 要 ① 背景・目的 ② 内容・特色 ③ 主な質疑 ④ 考察 (感想、課題、政策提言等)	<p><u>一宮市の概要について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一宮市は面積 11,382 k m²、人口が 385,777 人で、小学校 42 校、(児童数 21,675 人) 中学校 19 校 (生徒数 10855 人) である <p>※学校は「確かな学力」「豊かな心」「健やかなかからだ」の育成とこれから社会を生き抜く「未来に生きる力」の育成が求められる、「信頼される学校づくり」を進める必要がある</p> <p>一宮市は「めざす子ども像」を定め、その実現のために学校教育推進プランを策定する</p> <p>めざす子ども像「未来を拓く子ども」とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ○確かな学力育成プラン ○健やかなかからだ育成プラン ○豊かな心育成プラン ○未来に生きる育成プラン ○信頼される学校づくりプラン の 5 つのプランを柱とした <p>⑤学校教育推進プランについて</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)児童・生徒・保護者の情報モラル向上のための啓発活動 (2)論理的思考力を高めるプログラミング教育の実施(わくわくプログラミング教室の開催) (3)情報教育研究委員会(情報教育に関する学習活動のカリキュラムの作成) <p>「学校が共通に取り組む目標」…児童生徒に情報モラルを身につけさせるとともに必要な情報を適切に活用する学習をすすめます</p>



	<p>◎教育の情報化について</p> <p>(1)教育の情報化が目指すもの…3つの側面を通じた教育の質の向上（情報活用能力の育成・ICTを効果的に活用した分りやすく深まる授業の実現・ICTを活用した統合型校務システムによる効率的な校務遂行）</p> <p>(2)学校におけるICT環境設備について（5年計画、2018～2022年度）</p> <p>(3)普通教室のICT環境設備のステップ (電子黒板、PC、無線LANを設置しステップ1～4までを高めていく)</p> <p>◎ICTを活用した教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦小・中学校のICT環境設備 ◦小学校での情報教育（総合的な学習）全学年 ◦中学校での情報教育（技術科など） ◦教員のICT活用研修（初任者～夏季集中研修、冬季研修など） <p>◎プログラミング教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦一宮市独自の研究指（平成28年度より～） 小学校2校、中学校1校にタブレット（各10台）を配置して実施した（H28～H29年度） ◦p e p p e r 社会貢献プログラミングスクールチャレンジ (小、中学校27校でプログラミング教育を実施) ◦わくわくプログラミング教室（小学校5,6年生を対象とした希望制のプログラミング教室） ◦p e p p e r (ペッパー) ペッパー社会貢献プログラミング（ソフトバンク） 期間：平成29年度から平成31年度の3年間導入。小学校42校のうち15校、中学校19校のうち12校。1校あたり7～8台。わくわくプログラミング教室など多数 <p>◎情報モラル教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦地方事業による情報モラル教育の早期実施 (平成28年度～4ヶ年計画で小、中学校を指定) ◦情報モラルリーフレットの配付と活動はかる ◦情報モラルに関する教員研修の実施（夏季集中研修）で行う <p>感想</p> <p>愛知県一宮市はさすがに大きな市であり、また大都市名古屋に隣接して交通もよく、素晴らしい内容で参考になった研修であった。</p> <p>しかし、内容をきいて、子どもたちや教員の方々はかなり忙しいと思われた。また、時間的にたいへんであるような気がした。</p> <p>今後、ICTを活用する教育がますます進んでいくとおもわれるが、不</p>
--	--

	<p>安もあるような気がした。</p> <p><u>一宮中央図書館視察</u></p> <p>尾張一宮駅前ビルにあり 5~7 階までが図書館になっている 5 階は児童書エリアで、子供や親子が気兼ねなく本と親しめる空間となっている。おはなしのへや、A Vコーナー、じゅうたんコーナー、児童書及び学習室など、全体が広々としている。6 階は一般書と視聴覚エリアで、休憩室（公衆無線 LAN）ティーンズコーナー、車イス用閲覧席、対面朗読室、拡大読書機、多目的トイレなど。7 階は一般書、参考書エリアで、ビジネス支援コーナー、インターネットブース、せんいコーナー、持込パソコンコーナーなど</p>
感 想	<p>駅前ビルで商業ビルと一緒に（5~7 階）。便利で中心地にあっても室内は全くしづかで、図書館としてたいへんよい環境である。</p>
	<p><u>藤枝市の概要について</u></p> <p>藤枝市は面積 194.06 km²、人口 145,652 人 東海道の要衝として発展してきた町で交通の便も大変よく、またサッカーが盛んで一般、高校、男女とも強い お茶どころで朝比奈玉露は国内はもちろん、ヨーロッパなど世界でも絶賛されている</p> <p>◎ “健康・予防日本一のまち藤枝” づくりに向けた 「ふじえだプロジェクト」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暮らしの基本…4K 政策 — 健康・教育・環境・危機管理、として市民が幸せな健康生活を少しでも長く続けられる町に！ 藤枝市は若い世代を中心に定住人口増加中になっている (10 年連続で転入人口が転出人口を超過している) すべての始まりは…第一回健康寿命を延ばそう！アワード自治体部門で健康予防日本一ふじえだプロジェクトが厚生労働省健康局長 優良賞をうけた。（平成 24 年度） 「健康寿命都市協議会」を設立（全校で 25 都市） タイ王国やアジア・アフリカ各国との交流をして参考になっている “健康・予防日本一” ふじえだ推進体制 市民と事業者・行政が一体となって推進していく 守る健康（命を守る）…発症の予防・重症化予防・地域保健・医療

命を輝かせる…豊かなライフスタイル・健康寿命の延伸・ポピュレーションアプローチ

地域から 1,000 人の保健委員を委嘱して活動している（保健委員には自治会長さんになってもらっている）

自治会組織を基盤に、市民の 2 万人が経験者になっている
健康をキーワードに地域産業を振興、定住の促進！

◎健康予防日本一ふじえだプロジェクト

プロジェクト① 歩いて健康…日本全国バーチャルの旅へのご案内
(奥の細道コース・四国お遍路コース、北海道周遊コース・九州周遊コースなど、JR の協力を得る)

プロジェクト② ふじえだ健康スポット 20 選

地域資源の魅力の発信…健康を切り口に各地域のスタンプラリー・市のイベントに参加・JR 東海さわやかウォーキング

プロジェクト③ ふじえだ健康マイレージ…健康行動でポイントを貯め
2 週間以上を実践。日々の行動で 80 点 + ボーナスポイントで 20 点 = 100 点

ふじえだマイレージカード発行を申請する

ふじえだ健康マイレージは県の協力連携、情報交換などをうけて協力店(県内約 1,000 店舗)の割引やプレゼントなどのサービスが受けられる
楽しく歩いて健康を、賢く食べて健康を!!

・次なる展開として生活習慣病予防 ⇒ 運動と食事で健康行動 ⇒
企業に浸透 ⇒ 健康経営の推進

◎ふじえだまるごと健康経営プロジェクト（平成 30 年～）

こころの幹に咲かせよう！ 健康の藤の花、幸福度の高いまち、生活の高いまち、生活の質の高いまち

・民間活力を導入～包括連携協定を締結～

(1) 大塚製薬（株）と締結（平成 28 年 7 月）

健康、スポーツ施策等に関する包括連携協定
(協定項目)

○市民の健康寿命の延伸に向けた施策の推進

○働き盛り世代の健康・食育・スポーツ関心度の向上

○災害時における市民の健康管理・減災支援

○健康・食育・スポーツイベント等の開催や情報発信における相互協力

(2) カゴメ（株）と締結（平成 29 年 11 月）

健康・食育施策等に関する包括連携協定

	<p>(協定事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民の健康寿命延伸に向けた健康経営の推進 ○運動や食育に対する関心の向上 ○野菜摂取の価値と重要性の発信 ○市内農産物の消費促進 ○災害時における市民の健康管理・減災支援に関する事など <p>(3) 藤枝市、藤枝商工会議所、岡部町商工会、全国健康保険協会静岡支部（平成30年10月17日）</p> <p>「健康予防日本一」に向けた健康経営推進に関する協定</p> <p>(協定事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健康経営、健康宣言の普及促進 ○健康診断の受診促進 ○生活習慣病の予防及び健康づくり ○医療費適正化に資する取り組みの推進 ○その他市民の健康増進のために必要な事項など 具体的な取り組み <ul style="list-style-type: none"> ○健康経営の実践事業所の拡大、セミナーの開催 ○藤枝市健康施策の活用促進 ○藤枝市がん対策推進条例（施工後）の実効性の確保 ○「ふじのくに健康宣言事業所」事業の普及促進 ○健康経営優良法人申請など <p>めざそう、健康予防日本一!!</p>
感 想	<p>白石市の特定健康診査受診率は決して高いほうではない。 自分の健康は自分で守ることは当然だが、今回の藤枝市の行政視察で健康予防等について充実したプロジェクトは参考になった。</p>